

推進本部として初

会員企業向けICT舗装見学会 道建協

日本道路建設業協会

(増永修平会長)のi-

Pavement推進本

部は29日、本部の活動と

して初となる会員企業向

けのICT舗装の現場見

学会を開催したII写真。

当日、30人を超える土木

技術者が参加し、ICT

舗装工のノウハウを学ん

だ。

今回対象となった現場

は、千葉県市川市が整備

する「道の駅いちかわ」

で施工中の「道路休憩施

設舗装他工事」(千葉県

市川市国分6丁目地内)。

同現場では、起工測量と

路床盛土をICT土工

で、路盤工とアスファル

ト舗装工をICT舗装工

で進めている。ICT土

工では、3次元起工測量

や路床出来形検測にUA

V(無人航空機)と地上

型レーザースキャナを活

用し作業効率を上げてい

るほか、路床盛土にマシ

ンコントロールブドー

ザを使用することで、高



シヤをはじめと

するICT建設

機械を導入し、

生産性と安全性

を飛躍的に向上

させている。

当日、参加者

は「道の駅いち

かわ」やICT

舗装の概要に関

する説明を受け

た後、ICT建

機や現場施工を見学。I

CT舗装に関する質問が

多く飛び交い、見学会は

活況のまま終了した。

「道路休憩施設舗装他

工事」の発注者は国土交

通省関東地方整備局首都

国道事務所、施工は大林

道路関東支店が担当す

る。